

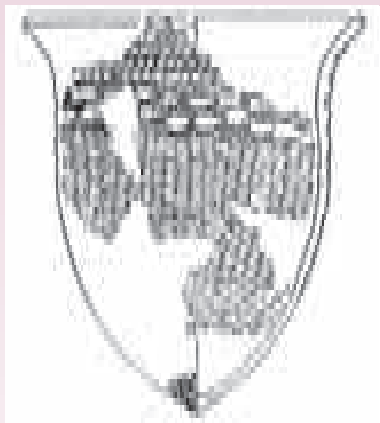
伊賀市の人口・世帯数

(平成21年12月31日現在)

人口 100,799人

(男)49,091人 (女)51,708人

世帯数 39,549世帯



▲花代遺跡出土の大川式土器

伊賀市北部における縄文遺跡の発掘調査の例は、さほど多いとは言えず、長良遺跡(印代)や奥小波田遺跡(ゆめが丘)の例を除けば、大半が包含層から数片から数十片の土器の破片が出土する程度のものでした。

一方、伊賀市の西側に隣接する奈良県山添村では縄文遺跡の調査例も多く、特に県境をはさんで名張川の対岸に位置する大川遺跡は、著名な縄文遺跡として広く知られています。大川遺跡出土の縄文土器は、時期幅を有するものですが、特に量的にも多く出土する押し型土器は良好な資料であり、縄文早期初めの標識資料とされています。

1万年以上前の縄文土器 前深瀬川流域出土の 押し型縄文土器

伊賀市の文化財

48

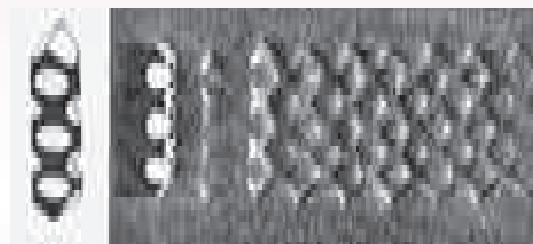
大川式土器に共通する縄文土器は、伊賀市南部、木津川上流の前深瀬川流域に所在する花代遺跡(青山羽根)、川上中縄手遺跡(川上)で出土しています。大きく口が開き、尖り底を有する深鉢は、頸部付近の大きな刺突文と全体に施された押し型文が特徴的な土器です。押し型文は管状の木片状工具を回転させて施したもので、縄文早期前半期に特徴的な文様とされています。

川上中縄手遺跡出土の大川式土器については、土器に付着した炭化物の科学的な分析が行われていて、紀元前8200年程度の年代が想定されています。このことから、1万年以上前の伊賀の地において、土器や石器を用いた人がすでに生活をしていたことがわかってきています。

【問い合わせ】

教育委員会生涯学習課文化財係

TEL 22・9681 FAX 22・9691



▲押し型文の工具とその文様(佐原真氏による)

今月の表紙

新たな交流人口創出による地域活性化を図るために、地元民間事業者の協力のもと、ラッピングトラックによる観光広告事業を実施し、地域をあげて観光振興に取り組んでいます。

ラッピングトラックによる観光広告は、固定看板と比べ、さまざまな場所に移動することでより多くの人に注目される割合が高くなります。

1月5日に発車式を行ったトラックは松尾芭蕉の図柄ですが、このほかにも、



上野天神祭・伊賀上野城・忍者をモチーフにした図柄のトラックが3台あります。これら4台のトラックは、関東をはじめ、岡山や広島方面に向かって走ります。

また運行先における伊賀市の観光への問い合わせにも対応できるように、トラックに観光パンフレットを積み、伊賀市の観光を宣伝します。



市の花
ササユリ



市の木
アカマツ



市の鳥
キジ

平成22年2月1日 発行/伊賀市 編集/企画振興部広聴広報課
〒518-8501 伊賀市上野丸之内1-16番地
TEL 22・9681 FAX 22・9691
<http://www.city.iga.lg.jp/>